

令和3年度第6回 横浜市外郭団体等経営向上委員会会議録

日 時	令和3年10月6日（水）[13:00～17:00]
開催場所	横浜市庁舎18階 共用会議室 みなと4
出席者	鴨志田委員長、田邊委員、治田委員、戸田委員、碓井委員
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者なし）
議 題	<p>○総合評価等の実施について</p> <p>[議題1] 公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会 [議題2] 公益財団法人横浜市国際交流協会 [議題3] 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 [議題4] 公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー [議題5] 公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団 [議題6] 横浜シティ・エア・ターミナル株式会社 [議題7] 横浜高速鉄道株式会社 [議題8] 横浜市信用保証協会 [議題9] 公益財団法人横浜市建築保全公社 [議題10] 横浜食肉市場株式会社 [議題11] 株式会社横浜市食肉公社 [議題12] 公益財団法人横浜市寿町健康福祉交流協会 [議題13] 公益財団法人横浜市総合保健医療財団 [議題14] 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会</p>
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会」は暫定として、総合評価分類を「事業進捗・環境変化等に留意」とした。 ・「公益財団法人横浜市国際交流協会」は暫定として、総合評価分類を「事業進捗・環境変化等に留意」とした。 ・「公益財団法人横浜市芸術文化振興財団」は暫定として、総合評価分類を「事業進捗・環境変化等に留意」 団体経営の方向性を「引き続き経営の向上に取り組む団体」とした。 ・「公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー」は暫定として、総合評価分類を「事業進捗・環境変化等に留意」 団体経営の方向性を「引き続き経営の向上に取り組む団体」とした。 ・「公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団」は暫定として、総合評価分類を「引き続き取組を推進」 団体経営の方向性を「引き続き経営の向上に取り組む団体」とした。 ・「横浜シティ・エア・ターミナル株式会社」は暫定として、総合評価分類を「事業進捗・環境変化等に留意」とした。 ・「横浜高速鉄道株式会社」は暫定として、総合評価分類を「事業進捗・環境変化等に留意」 団体経営の方向性を「引き続き経営の向上に取り組む団体」とした。 ・「横浜市信用保証協会」は暫定として、総合評価分類を「事業進捗・環境変化等に留意」 団体経営の方向性を「引き続き経営の向上に取り組む団体」とした。

	<ul style="list-style-type: none"> ・「公益財団法人横浜市建築保全公社」は暫定として、 総合評価分類を「事業進捗・環境変化等に留意」 団体経営の方向性を「引き続き経営の向上に取り組む団体」とした。 ・「横浜食肉市場株式会社」は暫定として、 総合評価分類を「事業進捗・環境変化等に留意」 団体経営の方向性を「引き続き経営の向上に取り組む団体」とした。 ・「株式会社横浜市食肉公社」は暫定として、 総合評価分類を「事業進捗・環境変化等に留意」 団体経営の方向性を「引き続き経営の向上に取り組む団体」とした。 ・「公益財団法人横浜市寿町健康福祉交流協会」は暫定として、 総合評価分類を「事業進捗・環境変化等に留意」とした。 ・「公益財団法人横浜市総合保健医療財団」は暫定として、 総合評価分類を「事業進捗・環境変化等に留意」 団体経営の方向性を「引き続き経営の向上に取り組む団体」とした。 ・「社会福祉法人横浜市社会福祉協議会」は暫定として、 総合評価分類を「事業進捗・環境変化等に留意」 団体経営の方向性を「引き続き経営の向上に取り組む団体」とした。
議 事	<p>[議題1] 公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会</p> <p>1 委員会からの確認事項に対する回答等について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会からの確認事項に対する所管局・団体の回答について説明 <p>2 委員からの意見等 (鴨志田委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益的使命に合致するターゲット層がもっと利用できるよう取り組むべきだと思う。 <p>(田邊委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の公益的使命は男女共同参画社会の実現だが、現状は非正規雇用の女性支援やDV対策等、女性を中心とした課題が多い。現在の社会経済状況に応じた課題に対応しているため、公益的使命の達成まで時間がかかるという説明があれば、事業の効果的・効率的な実施方法がより明確になると思う。 ・団体は現在、貸館や専門図書館などの施設の管理運営を行っているが、団体の公益的使命には合致しない。今後、市財政への貢献という視点で実施すべき事業を検討する際、施設の管理運営から徐々に手を引くべきだと考える。 例えば、市内の図書館に男女共同参画コーナーを設置することで、全市的に男女共同参画社会の推進に資する書籍を充実させていくことができ、男女共同参画社会の実現に近づくのではと思う。 <p>(治田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館とは異なる基準で収集された、男女共同参画に関する書籍を扱う専門図書館を、横浜の文化として残していくべきだとも思う。 ・いずれにせよ、「専門図書館が必要である」という回答や理由を所管局と団体が明確に示すべきである。

	<p>(田邊委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の公益的使命と行うべき事業を明確にした上で、施設の在り方や効率的・効果的な運営方法の検討が求められる、という旨を附帯意見とし、「事業進捗・環境変化等に留意」を暫定評価として提案する。 <p>→全委員同意</p> <p>3 暫定評価</p> <p><総合評価> 事業進捗・環境変化等に留意</p>
	<p>[議題2] 公益財団法人横浜市国際交流協会</p> <p>1 委員会からの確認事項に対する回答等について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会からの確認事項に対する所管局・団体の回答について説明 <p>2 委員からの意見等</p> <p>(田邊委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際学生会館の管理運営について、所管局が団体に対し、早く方向性を示すべきだと思う。 ・外国人住民の地域との関わり方について、外国人住民に市民としての役割を果たしてもらうことを目指していくべきと思う。そのために、所管局が団体に対して方向性を明確に示した上で基本的方針と行動計画を作成すべきと思う。 <p>(戸田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在は語学講座等、支援という意味合いの事業が多いように感じる。今後は、市民としてどのような役割を果たしてもらうのか、国際交流の定義をどう考えるのか、公益的使命の再確認を含め、検討してもらいたい。 <p>(田邊委員)</p> <p>外国人の地域参画の在り方について、市所管局と団体で十分に協議を進める必要がある、また国際学生会館の在り方についても引き続き検討してほしいという意見を踏まえ、暫定評価として「事業進捗・環境変化等に留意」を提案する。</p> <p>→全委員同意</p> <p>3 暫定評価</p> <p><総合評価> 事業進捗・環境変化等に留意</p>
	<p>[議題3] 公益財団法人横浜市文化芸術振興財団</p> <p>1 委員会からの確認事項に対する回答等について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会からの確認事項に対する所管局・団体の回答について説明 <p>2 委員からの意見等</p> <p>(碓井委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認事項の2番目について、前年と比較して投資有価証券が6,000万円増加している件は、投資有価証券の新規購入ではないことが回答から分かったので問題ない。

	<p>(田邊委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインの活用など既に工夫されているが、ハイブリッドも含めながらアフターコロナへの対策を講じる必要性があるという附帯意見を加えたい。 ・協約の達成状況では未達成がある。暫定評価として「事業進捗・環境変化等に留意」を提案する。 <p>→全委員同意</p> <p>3 暫定評価</p> <p><総合評価>事業進捗・環境変化等に留意</p> <p><団体経営の方向性>引き続き経営の向上に取り組む団体</p>
	<p>[議題4] 公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー</p> <p>1 委員会からの確認事項に対する回答等について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会からの確認事項に対する所管局・団体の回答について説明 <p>2 委員からの意見等</p> <p>(治田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これだけ様々な事業をされている中で、公益的使命の達成に向けた取組目標が「横浜観光情報ウェブサイトのユニークユーザー数」ではなく団体として他に上げるべき事業があるのではないかと。 ・この観光事業をやったことによって、横浜の経済がこれだけ潤うという、観光の賑わいを数値化したものがあれば評価指標として最適だと思う。 ・持続可能な観光・MICE 都市の実現を目指した戦略的取組としてマーケティング調査を行っているが、そこから新たな目標の修正提案が出てくるのではないかと。 <p>(田邊委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営向上委員会として、経営向上させるためのアイデアをアドバイスしていくことは重要な役割。 ・「ユニークユーザー数よりも、こういう目標設定の方が良いと思われるがどうか」という助言ができれば建設的な議論ができるが、こちらから具体的な提案はなかなか難しい。 ・いくつかの取組が遅れとなっている。暫定評価として「事業進捗・環境変化等に留意」を提案する。次期協約に向けて効果的な目標設定の検討を期待する。 <p>→全委員同意</p> <p>3 暫定評価</p> <p><総合評価>事業進捗・環境変化等に留意</p> <p><団体経営の方向性>引き続き経営の向上に取り組む団体</p>
	<p>[議題5] 公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団</p> <p>1 委員会からの確認事項に対する回答等について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回審議において、委員会からの確認事項はなかった。

	<p>2 委員からの意見等 (治田委員) ・Y-BIRD 事業に関して大きな課題を抱えていたが、解消した。今後は、生命科学分野の振興という団体の公益的使命に向けて引き続き取り組むことを期待したい。</p> <p>(田邊委員) ・この団体は、経営効率化に向けた努力を行ってきたと評価している。暫定評価として「引き続き取組を推進」を提案する。 →全委員同意</p> <p>3 暫定評価 <総合評価>引き続き取組を推進 <団体経営の方向性>引き続き経営の向上に取り組む団体</p>
	<p>[議題6] 横浜シティ・エア・ターミナル株式会社</p> <p>1 委員会からの確認事項に対する回答等について (事務局) ・委員会からの確認事項に対する所管局・団体の回答について説明</p> <p>2 委員からの意見等 (碓井委員) ・「財務に関する取組」について、もう少し積極的な目標にすべきではないか。目標がマイナスとなっている。確かに厳しい状況ではあるが、最初から赤字目標で良いのか、疑問に思う。</p> <p>(戸田委員) ・コロナ禍でなく、国際線が動いている限り、経営的に全然問題がなかった団体。設立時の公益目的から考えると、経営改善のために他に対策を取ることは難しかったとは思いますが、結果、一番打撃を受けている。</p> <p>(田邊委員) ・コロナ禍で赤字転換したことを契機に、もう一度経営の見直し、改善が必要だと伝えたい。 ・暫定評価として「事業進捗・環境変化等に留意」を提案すると共に、より収益を上げるべきという附帯意見を加える。 →全委員同意</p> <p>3 暫定評価 <総合評価>事業進捗・環境変化等に留意</p>
	<p>[議題7] 横浜高速鉄道株式会社</p> <p>1 委員会からの確認事項に対する回答等について (事務局) ・委員会からの確認事項に対する所管局・団体の回答について説明</p> <p>2 委員からの意見等 (田邊委員)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に34億円の赤字を出している。その上更に赤字が出ると、赤字分を取り戻すだけでも何年もかかってしまう。加えて、市の損失補償を付けた大きな借入金もある。コロナから回復すれば何とかなるといレベルを超えている。かといって、財務体質の改善策について具体的に意見するのは難しい。 ・収益源として、空きスペースの有効活用を検討するのも一つの案。 <p>(碓井委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益も大事だが、安全な鉄道運行という使命を全うする事も重要である。 <p>(田邊委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全を担保しつつ、収益改善に努めていくとの意向を踏まえ、暫定評価として「事業進捗・環境変化等に留意」を提案する。 <p>→全委員同意</p> <p>3 暫定評価</p> <p>＜総合評価＞事業進捗・環境変化等に留意</p> <p>＜団体経営の方向性＞引き続き経営の向上に取り組む団体</p>
	<p>[議題8] 横浜市信用保証協会</p> <p>1 委員会からの確認事項に対する回答等について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会からの確認事項に対する所管局・団体の回答について説明 <p>2 委員からの意見等</p> <p>(碓井委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮受金についての回答は理解した。 <p>(鴨志田委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シートについて、令和2年度はコロナ禍により団体が一丸となって市内事業者の事業継続のための資金繰り支援を最優先に取り組んだこともあり、協約目標に対して一部未達成となっている。 <p>(田邊委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内経済がコロナ禍の影響を受ける中、市内事業者に対する経営支援等に引き続き取り組んでほしい。暫定評価として「事業進捗・環境変化等に留意」を提案する。 <p>→全委員同意</p> <p>3 暫定評価</p> <p>＜総合評価＞事業進捗・環境変化等に留意</p> <p>＜団体経営の方向性＞引き続き経営の向上に取り組む団体</p>
	<p>[議題9] 公益財団法人横浜市建築保全公社</p> <p>1 委員会からの確認事項に対する回答等について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会からの確認事項に対する所管局・団体の回答について説明 <p>2 委員からの意見等</p> <p>(戸田委員)</p>

	<p>・高度経済成長期に整備された公共建築物は、経年劣化が進んでいる。学校は多くの生徒の命を守らないといけないため、より厳しい劣化状況の把握や点検が必要である。</p> <p>(田邊委員)</p> <p>・3年ほど前から業務の効率化などの経営改革を進め、しっかりと課題に対応する団体となった。</p> <p>・総合評価シートについては一部未達成があるが、きちんとした理由があり、今後解決できると思われる。暫定評価は「事業進捗・環境変化等に留意」を提案する。 →全委員同意</p> <p>3 暫定評価</p> <p><総合評価> 事業進捗・環境変化等に留意</p> <p><団体経営の方向性> 引き続き経営の向上に取り組む団体</p>
	<p>[議題10] 横浜食肉市場株式会社</p> <p>1 委員会からの確認事項に対する回答等について</p> <p>(事務局)</p> <p>・委員会からの確認事項に対する所管局・団体の回答について説明</p> <p>2 委員からの意見等</p> <p>(田邊委員)</p> <p>・委員会からの確認事項への回答について、合併等ができない理由の記載があるが、メリット・デメリットを比較しながら検討する必要があると思う。</p> <p>・財務改善が必要ということは引き続き認識する必要がある。団体経営の在り方について、長期的に方向性の模索を始めるべきと思う。暫定評価は「事業進捗・環境変化等に留意」を提案する。 →全委員同意</p> <p>3 暫定評価</p> <p><総合評価> 事業進捗・環境変化等に留意</p> <p><団体経営の方向性> 引き続き経営の向上に取り組む団体</p>
	<p>[議題11] 株式会社横浜食肉公社</p> <p>1 委員会からの確認事項に対する回答等について</p> <p>(事務局)</p> <p>・委員会からの確認事項に対する所管局・団体の回答について説明</p> <p>2 委員からの意見等</p> <p>(戸田委員)</p> <p>・退職給付引当金の計上不足など、財務上の課題は大きい。解決に向け、積立計画の推進や何らかの判断が必要である。</p> <p>(田邊委員)</p> <p>・市場会社と同様に、財務改善が必要ということは引き続き認識する必要がある。団体経営の在り方について、長期的に方向性の模索を始めるべきと思う。暫定評価</p>

	<p>は「事業進捗・環境変化等に留意」を提案する。 →全委員同意</p> <p>3 暫定評価 <総合評価> 事業進捗・環境変化等に留意 <団体経営の方向性> 引き続き経営の向上に取り組む団体</p>
	<p>[議題12] 公益財団法人横浜市寿町健康福祉交流協会</p> <p>1 委員会からの確認事項に対する回答等について (事務局) ・委員会からの確認事項に対する所管局・団体の回答について説明</p> <p>2 委員からの意見等 (田邊委員) ・再就職支援から対象者が高齢化し、ミッションが大きく変わった。 ・年々福祉需要が拡大している。コストパフォーマンスを上げていく必要がある。健康福祉関係の事業は肥大化していく。コスト意識を持ちつつ、引き続き取り組みを進めてほしい。 ・暫定評価として、「事業進捗・環境変化等に留意」を提案する。団体経営を取り巻く環境が大きく変化している状況の中で、今後もコスト意識をしっかりと持ちながら、公益的使命の達成に向けた努力を続けてほしい。 →全委員同意</p> <p>3 暫定評価 <総合評価> 事業進捗・環境変化等に留意</p>
	<p>[議題13] 公益財団法人横浜市総合保健医療財団</p> <p>1 委員会からの確認事項に対する回答等について (事務局) ・委員会からの確認事項に対する所管局・団体の回答について説明</p> <p>2 委員からの意見等 (戸田委員) ・主要事業を協約の目標に挙げるべきではないか、という質問を前回投げかけた。 (田邊委員) ・実際に医療行為を行っている団体。適切な指標については前から議論を行っているが、専門性が高い事業を担っている団体でもあるので、具体的に提案するのが難しい。 (治田委員) ・委託等が多い事業構造となっているため、団体も数値目標が立てにくいのかもしれない。横浜市からの委託事業以外で努力できる部分で対応しているように思える。 (事務局) ・指定管理者として担っている事業であっても、その団体が受けているのであれ</p>

	<p>ば、協約目標にしていくべきかもしれない。</p> <p>(田邊委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暫定評価として「事業進捗・環境変化等に留意」を提案する。現協約については「未達成」の目標があるものの、「若年性認知症者への支援の拡充」や「医療観察法等の対象者の支援」といった新たな目標を掲げている。引き続き、社会の課題に対して前向きに取り組んでもらいたい。 <p>→全委員同意</p> <p>3 暫定評価</p> <p><総合評価>事業進捗・環境変化等に留意</p> <p><団体経営の方向性>引き続き経営の向上に取り組む団体</p>
	<p>[議題14] 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会</p> <p>1 委員会からの確認事項に対する回答等について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会からの確認事項に対する所管局・団体の回答について説明 <p>2 委員からの意見等</p> <p>(田邊委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい目標を設定する等、社会の変化に合わせてミッションの達成に向けた努力を継続してほしい。 ・暫定評価は「事業進捗・環境変化等に留意」を提案する。 ・寄附・遺贈について具体的な取り組みが新たに設定されるなど、目標設定について評価できる。その達成に向けて実際に取り組んでもらいたい旨、附帯意見を加える。 <p>→全委員同意</p> <p>3 暫定評価</p> <p><総合評価>事業進捗・環境変化等に留意</p> <p><団体経営の方向性>引き続き経営の向上に取り組む団体</p>
<p>資 料</p>	<p>資料1：総合評価シート</p> <p>資料2：協約等（素案） ※「協約等」策定団体のみ</p> <p>資料3：変更協約等（素案） ※該当団体のみ</p> <p>資料4：協約変更説明書 ※該当団体のみ</p> <p>資料5：現協約の考え方 ※該当団体のみ</p> <p>資料6：委員会からの確認事項</p>